



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月27日

上場取引所 東大

上場会社名 大証金(大阪証券金融株式会社)

コード番号 8512 URL <http://www.osf.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 堀田 隆夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画総務部長

(氏名) 小田 康史

TEL 06-6233-4510

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,788	7.7	△39	—	99	—	434	△82.7
23年3月期第2四半期	1,660	△36.0	△330	—	△211	—	2,508	750.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	11.88	—
23年3月期第2四半期	68.61	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	241,011	17,767	7.4
23年3月期	236,116	17,751	7.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 17,767百万円 23年3月期 17,751百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,800	10.6	100	—	300	—	600	△81.6	10.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	37,000,000 株	23年3月期	37,000,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	440,848 株	23年3月期	440,823 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	36,559,169 株	23年3月期2Q	36,559,486 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、さまざまな不確定要素が内在しておりますので、実際の業績等はこれらの予想数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料P2「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
第一種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0 00	—	14 00	14 00
24年3月期	—	0 00			
24年3月期(予想)			—	14 00	14 00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)のわが国経済につきましては、東日本大震災直後の急激な落ち込みからは徐々に回復傾向を辿りましたが、円高の進行や海外経済の下振れ懸念など、依然として先行きについての不透明感は払拭できない状況が続きました。

株式市況についてみますと、期初9千7百円台でスタートした日経平均株価は、円安などを好感して5月上旬には1万円台を回復した後、NYダウの値下がりなどからやや水準を下げたものの、7月入り後は景気回復期待を背景に再び1万円台を回復しました。しかしその後は、世界経済の減速懸念や円高進行などから続落商状を辿り、9月下旬には2年半ぶりの安値となる8千3百円台まで下落するなど、冴えない展開となりました。

この間、大阪市場における信用取引買残高は期初の1,400億円台から6月には1,700億円台まで増加しましたが、その後は株式市況の下落を映し期末にかけて水準を切り下げる展開となりました。

こうした状況下、当第2四半期累計期間の営業収益は1,788百万円(前年同期比7.7%増)となりました。営業収益の増収に加え一般管理費が減少したことから、営業損失幅は39百万円(前年同期は営業損失330百万円)に縮小し、経常損益は99百万円の黒字(前年同期は経常損失211百万円)に転換しました。四半期純利益は、償還済投資信託にかかる分配金を特別利益に計上したこともあって434百万円(リーマン・ブラザーズ証券株式会社に対する再生債権にかかる第1回弁済の剥落により前年同期比は82.7%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産額は241,011百万円と前事業年度末に比べて4,894百万円増加しました。これは、投資有価証券が減少したものの、借入有価証券代り金が増加したことなどによるものです。

一方、負債総額は223,243百万円と前事業年度末に比べて4,878百万円増加しました。これは、コールマネーが増加したことなどによるものです。

この間、純資産額は17,767百万円と前事業年度末に比べて16百万円増加しました。これは、利益剰余金が増加したことなどによるものです。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて543百万円増加し、907百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、906百万円の収入超(前年同期444百万円の収入超)となりました。収入の主な内訳は有価証券及び投資有価証券の純減少額17,439百万円、コールマネー等の純増加額12,000百万円、税引前四半期純利益428百万円であり、支出の主な内訳は借入有価証券代り金の増加額21,905百万円、短期借入金の純減少額3,825百万円です。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、26百万円の支出超(前年同期74百万円の支出超)となりました。これは、主に無形固定資産の取得による支出29百万円によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、337百万円の支出超(前年同期335百万円の支出超)となりました。これは、主に配当金の支払額319百万円によるものです。

## (3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年10月25日に公表いたしました平成24年3月期通期業績予想につきましては、変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(3) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,363	5,907
有価証券	8,004	21,421
営業貸付金	77,229	72,351
借入有価証券代り金	71,795	93,700
その他	449	3,541
貸倒引当金	△2,161	△2,208
流動資産合計	159,680	194,713
固定資産		
有形固定資産	382	343
無形固定資産	676	559
投資その他の資産		
投資有価証券	74,768	44,723
その他	1,402	1,466
貸倒引当金	△794	△795
投資その他の資産合計	75,377	45,394
固定資産合計	76,436	46,297
資産合計	236,116	241,011
<b>負債の部</b>		
流動負債		
コールマネー	7,000	19,000
短期借入金	156,950	153,125
コマーシャル・ペーパー	15,000	12,000
貸付有価証券代り金	21,788	21,540
未払法人税等	46	21
賞与引当金	67	60
その他	4,813	7,792
流動負債合計	205,665	213,540
固定負債		
長期借入金	12,000	9,000
退職給付引当金	331	353
役員退職慰労引当金	149	154
その他	219	195
固定負債合計	12,700	9,703
負債合計	218,365	223,243

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	3,229	3,229
利益剰余金	9,403	9,518
自己株式	△131	△131
株主資本合計	17,502	17,616
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	249	150
評価・換算差額等合計	249	150
純資産合計	17,751	17,767
負債純資産合計	236,116	241,011



(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業収益	1,660	1,788
営業費用	618	663
営業総利益	1,041	1,124
一般管理費	1,371	1,164
営業損失(△)	△330	△39
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	88	89
受取賃貸料	35	34
その他	2	20
営業外収益合計	127	146
営業外費用		
支払利息	7	6
その他	0	0
営業外費用合計	8	6
経常利益又は経常損失(△)	△211	99
特別利益		
有形固定資産売却益	4	—
償却債権取立益	2,739	—
投資有価証券清算分配金	—	369
特別利益合計	2,744	369
特別損失		
有形固定資産除却損	0	0
環境対策費	4	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1	—
ゴルフ会員権評価損	—	3
投資有価証券評価損	—	37
特別損失合計	6	40
税引前四半期純利益	2,527	428
法人税、住民税及び事業税	2	2
法人税等調整額	16	△9
法人税等合計	18	△6
四半期純利益	2,508	434

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	2,527	428
減価償却費	229	183
貸倒引当金の増減額(△は減少)	149	48
賞与引当金の増減額(△は減少)	8	△7
退職給付引当金の増減額(△は減少)	47	22
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△80	4
受取利息及び受取配当金	△1,553	△1,521
支払利息	284	207
償却債権取立益	△2,739	—
投資有価証券清算分配金	—	△369
有形固定資産売却損益(△は益)	△4	—
有形固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損益(△は益)	—	37
ゴルフ会員権評価損	—	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1	—
定期預金の純増減額(△は増加)	1,000	△1,000
有価証券及び投資有価証券の純増減額(△は増加)	5,214	17,439
営業貸付金の増減額(△は増加)	11,826	4,883
借入有価証券代り金の増減額(△は増加)	52,526	△21,905
コールマネー等の純増減(△)	5,700	12,000
短期借入金の純増減額(△は減少)	△63,100	△3,825
コマース・ペーパーの増減額(△は減少)	△1,000	△3,000
貸付有価証券代り金の増減額(△は減少)	△10,496	△248
貸借取引担保金の増減額(△は減少)	544	△1,046
信用サポートローン担保金の増減額(△は減少)	△1,730	—
長期借入金の増減額(△は減少)	△25	△3,000
役員賞与の支払額	△22	△19
その他	△64	△58
小計	△758	△744
利息及び配当金の受取額	1,498	1,916
利息の支払額	△285	△206
法人税等の支払額	△10	△59
営業活動によるキャッシュ・フロー	444	906
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4	△1
有形固定資産の売却による収入	4	—
無形固定資産の取得による支出	△78	△29
その他	3	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△74	△26
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△16	△17
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△319	△319
財務活動によるキャッシュ・フロー	△335	△337
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	33	543
現金及び現金同等物の期首残高	109	363
現金及び現金同等物の四半期末残高	143	907

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。